CDEJのための情報アップデート

「いただきます」とグルファスト®

三宿病院　薬剤課　鎌田　　泉

2004年5月に登場した経口血糖降下薬「グルファスト錠®」をどのように服薬指導されていますか．問題はありませんか．

グルファスト錠®は膵β細胞上のSU（スルフォニル尿素）受容体と選択的に結合し，インスリン分泌を促進して血糖を下げる薬剤です．作用がSU薬よりも非常に速い薬剤として開発されました．そのため●食前30分前の服用では低血糖の危険があり，●食前10分前でもすでにインスリン分泌がはじまることがわかっており，●食後の服用では薬剤吸収遅延が起こり，前記のいずれも服用後のタイムリーなインスリン分泌を期待できません．正しく服薬できるかどうかで薬効に差が出てしまいます．

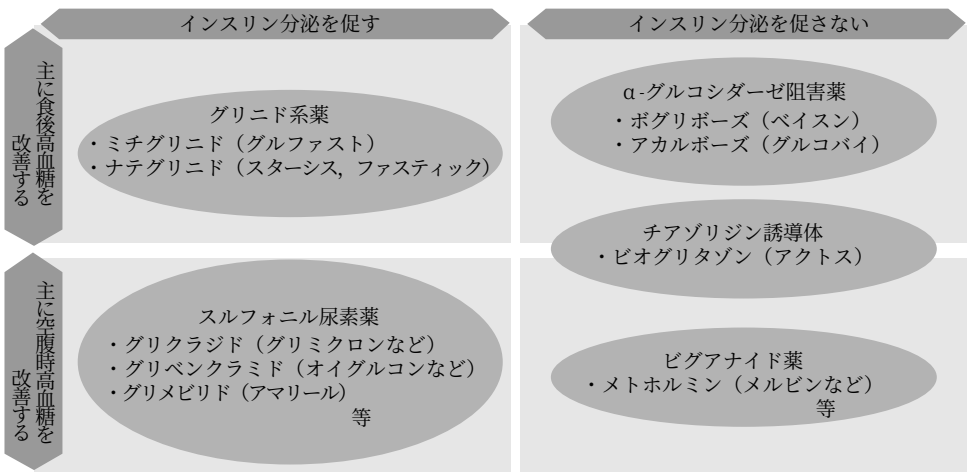
以上の理由から，なぜ食直前（5分以内）に服用しなければいけないのかを十分に理解してもらいましょう．服用を忘れた場合はスキップするよう説明します．うっかり忘れたり，外出が多かったり等で，一ヶ月を通して多数回服用を忘れてしまう場合は，生活（特に食生活）の様子を良く聞いてみましょう．日常生活に上手く組み込む方法を患者さんと一緒に考える事が大切でしょう．

また，食事をすることが前提の薬ですが，食事摂取量が少なかったり，併用薬によっては，低血糖の可能性があります．低血糖の症状と対処方法も忘れずに説明しましょう．

【薬剤の特徴】

★SU受容体と選択的に結合するためSU薬とは併用しません．★肝臓・腎臓障害のある場合，低血糖をおこすおそれがあります．★今後チアゾリジン誘導体やビグアナイド薬との併用も予想されます．★糖尿病学会ガイドラインではα-GI（アルファグルコシダーゼ阻害剤）とグリニド系薬剤との併用は可となっており，グルファスト®についても今後適応が拡大される方向です．★発売後一年間（2005年4月末）は14日投与が上限という点も患者・医師に伝えましょう．★剤型：素錠．成分：ミチグリニドカルシウム水和物（Mitiglinide Calcium Hydrate）5mg，10mg．製造・販売：キッセイ薬品工業株式会社．販売：武田薬品工業株式会社．副作用など，詳細は添付文書を参照して下さい．

経口血糖降下薬の特性



加来浩平，糖尿病コントロールハンドブック，2004年
（武田薬品工業株式会社より提供）